

# さくらの里

新こぐわっ子18名を迎え

## 蚕桑小学校入学式



4月7日(水)、例年になく桜の開花が進み、暖かな陽がふりそそぐ中、蚕桑小学校で入学式が行われました。

コロナ禍の中で、今年も出席者が限られた時間を短縮した入学式となりました。18名の新入生は、保護者や先生方に見守られながら、やや緊張した面持ちで入学式に臨みました。

中川栄子校長が退任されて梨郷小学校より着任された金田佐智子校長はじめ、参列者全員で新こぐわっ子となった一年生を歓迎しました。蚕桑小学校は、男子11名、女子7名の18名が加わって、全校児童103名で新年度がスタートしました。

新しい教科書やノート、鉛筆をランドセルに詰めて、安心して楽しく小学校に通える日常に戻るように、一日も早い新型コロナウイルスの収束を願いたいものです。



## 会長退任あいさつ

多田 章

雪解けも例年になく早く進み、桜の開花便りが届く季節となりました。皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私こと この度蚕桑地区桜の里づくり推進委員会の会長職を辞することとなりました。三年間という長い間、地域の皆様方からは、多大なるご指導とご協力を頂き心から感謝し厚く御礼申し上げます。

振り返ってみると、桜の里づくり計画が策定され「伝統と地域の魅力が活きる里 蚕桑」を目標に専門部会でいろいろな事業に取り組んで、特に文化祭・味じまん（これは各地区での作り上げるまでが地域づくりの基礎になる）、蚕桑の歴史、文化などを蚕桑小学校の生徒さんと一緒に学習できたこと、安全部会での蚕桑地区内の危険箇所点検・避難所開設訓練の講習会などの地域の安全・安心を守るべく防災の意識の向上など、地域の皆様と一緒に取り組みをして一歩一歩前に進んでまいりました。

令和二年度は、さらに地区の皆さんが参加いただく事業を計画してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、イベント、集会等が中止や縮小を余儀なくされ、思うような活動が出来ず残念な一年となりました。これからは、コロナ禍でも皆様の英知を出し合い活動出来るようにしたいものです。コロナ感染症の一日も早い収束を願うばかりです。

結びに蚕桑地区の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ退任の挨拶といたします。

## センター長退任あいさつ

湯澤 信弘

陽春麗和の季節となり、蚕桑の桜の名木も次々に花ひらいてまいりました。

私こと、この度、三年間の任期満了によりコミュニティセンター長を退任することとなりました。地域の皆様には、ご指導ご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

就任当時は、社会教育中心の地区公民館から、地域課題を解決して住みよい地域づくりを目指す、コミュニティセンターに移行して四年目を迎えた時でした。長年続いてきた生涯学習の学級、講座中心の事業から「桜の里づくり計画」に基づいた地域づくり事業への転換は困難を伴いました。三年をかけて少しずつ、本来コミュニティセンターが目指すべき地域づくり事業へと軸足を移してまいりました。三年間を振り返って、まさに「地域づくり」は「人づくり」、また「若者の力を活かす」ことが大切であることを実感しました。人づくりを目的とした「蚕桑塾」による歴史講座や、地域の企業を知る講座、また、「桜の里散歩路歴史探訪」、小学生を対象にした「こぐわキッズ」事業等に力を注いでまいりました。

令和二年度は、新型コロナウイルスにより思う様に活動が出来ませんでした。が、「桜の里づくり計画」重点プロジェクトの見直し、頻発する災害への防災対策の検討などを行い、地域づくりの条件整備を行いました。

人口減少や、有害鳥獣対策など地域の課題は山積しております。地域の皆様の力を結集して、安全、安心で住みよい地域をつくるために、ご協力いただくことをお願い申し上げます。



## 今、伝えたいことば ⑧

縁尋機妙 (えんじんきみょう)  
多逢聖因 (たほうしょういん)

(いい人にまじわっていると、  
知らず知らずがいい結果に恵まれる)  
陽明学者 安岡正篤

## これからの予定

- 4月15日(木) 絵画教室
- 4月21日(水) 桜の里づくり推進委員会  
役員会
- 4月26日(月) 桜の里づくり推進委員会  
評議員会



会長就任あいさつ  
五十嵐 政司



例年になく早い雪解け、4月に入るとすぐに桜は開花し始め、心豊かな春を迎えたこの頃です。

この度、蚕桑地区桜の里づくり推進委員会の会長を仰せつかり、責任の重大さを感じているところであります。

公民館という枠を超え、地域課題の解決や個性ある地域づくり、人づくりに取り組むためのコミセンへの移行から6年を経過しました。元金田会長、前多田会長等のご活躍により、確かな歩みが続けてまいりました。しかし、ご承知の新型コロナウイルスは収束せず、地域づくりの動きも控えなければならぬ状態が続きます。

そんな苦しく厳しい状況にこそ、今できること、今でしかできないこと、今だからこそやらなければなら

ないことを語り合いながら、事業、活動を進めてゆきたいと考えます。「伝統」を大切にし、蚕桑の地域に住んでゆくことが楽しく、人との関わりが嬉しくなる地域づくりのため、皆さんのご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

センター長就任あいさつ  
多田 章



この度、桜の里づくり推進委員会より蚕桑地区コミュニティセンター長を拝命いたしました。微力ではありますが、地区の皆様と一緒に地域づくりを進めて参る所存でありますので宜しくお願いいたします。

センター職員、一丸となつて地域づくりの拠点となるコミセンとなる様、努力してまいりたいと思っておりますので、皆様方の特段のご支援とご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

蚕桑地区役員紹介

区 長・副 区 長

地区名	区 長 名	副 区 長 名
東高玉	五十嵐 政司	本木 榮助
西高玉	金田 春雄*	滝田 嘉雄*
西横田尻	梅津 秀明*	金田 寛*
東横田尻	庄司 彰*	田勢 一雄*
山 口	槌谷 謙滋郎	青木 勝彌

敬称略 \*は新任

町 内 長

町内名	町内長名	町内名	町内長名
1	佐藤 広美*	11	金田 健市
2	児玉 文博	12	鈴木 祐一*
3	本木 善博*	13	井澤 友二*
4	小口 哲弘	14	高橋 彰
5	佐藤 俊男*	15	岩崎 清
6	小口 守夫*	16	菅 貞司
7	金子 義正	17	那須 伸一*
8	鈴木 護	18	中川 容二
9	小林 久	19	小出 健一*
10	新野 光好	20	石井 吉彦*



## 小口利晴さん功労賞受賞

3月9日、令和2年度白鷹町スポーツ協会表彰式において前蚕桑地区社会体育振興会会長の小口利晴さんが功労賞を受賞されました。小口さんは、功労賞を受賞された4年、副会長及び会長を務められ、蚕桑地区のスポーツの普及と振興に多大な貢献をされました。また、現在も壮年サッカーチームや壮年ソフトボールチームの全国大会で活躍するなど、他の模範となる活動を行っています。



## 湧泉パーク水車雪囲い外し

3月9日、区長の方々の指導の下、水車雪囲い外しを行いました。水車を流し始めましたが、なかなかスムーズに回らず原因を調査した結果、水車の回転軸を支えているベアリングが経年劣化で破損していることがわかりました。この度、ベアリングを新品に交換して、今まで通り心地よく回る水車を楽しめるように、みんなで足運んでみてくださいます。



## 令和3年度白鷹町介護予防教室事業「元気わくわく教室」のご案内

年齢を重ねてもいつまでも元気で、いきいきと充実した毎日を送るため、介護予防教室事業「元気わくわく教室」を行います。この教室では、体力筋力向上と認知機能低下防止のための体操を定期的に行います。

- ◎対象 65歳以上の方（支援や介護が必要のない方）
- ◎場所 蚕桑地区コミュニティセンター
- ◎期間 週1回水曜日  
※1年間通して週1回参加可能な方
- ◎時間 午前10時15分から11時15分
- ◎講師 白鷹町総合型地域スポーツクラブ ゆめスポしらたか「RO\*KU」
- ◎利用料金 1回200円  
(送迎はありません。)
- ◎申し込み方法: 事前に申し込みが必要になります。利用申請書は、白鷹町のホームページ(申請書ダウンロード)からダウンロードしていただくか、健康福祉課地域包括支援センター係でお受け取りいただき、記入後、地域包括支援センター係に提出してください。
- ◎申込み・お問合せ先  
白鷹町地域包括支援センター係 TEL86-0112

## 山柳

蚕桑交柳社作品

課題 「豆」

鬼退治泣く子笑う子豆を撒く  
豆撒きで払い退けたいコロナ渦  
豆撒きも今の鬼など弱虫だ

課題 「楽」

裏方で生きた人生又楽し  
転ぶなど念押す孫の肩を借り  
楽々と何でもこなす凄い人

ユーモア句

角立てぬ僕なら豆腐丸く切る  
苦も楽も越えて安泰笑い皺

阜凡 阜古 重古 月

笑案 凡古 柳

阜一 月 杯

## コミセン全館Wi-Fi対応になりました

以前からご要望が多かったWi-Fi環境を整備し、全館でWi-Fiが使えるようになりました。今後様々な機会にご活用ください。



## コミセン職員の紹介

今年度は、コミセン業務を以下の職員体制で務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

- センター長 多田 章
- 事務局長 滝田 嘉雄
- 事務局員 横山 由紀子



あとがき

満開の桜を見ながらこの原稿を書いています。どんな状況でも、毎年変わらぬ状況でも、毎年のように咲く桜の姿に励まされる気がします。令和3年度が始まりました。困難な状況が続いていますが、乗り越えていきたいです。今年度も楽しい思い出を残したいです。よろしくお願いいたします。(横山)